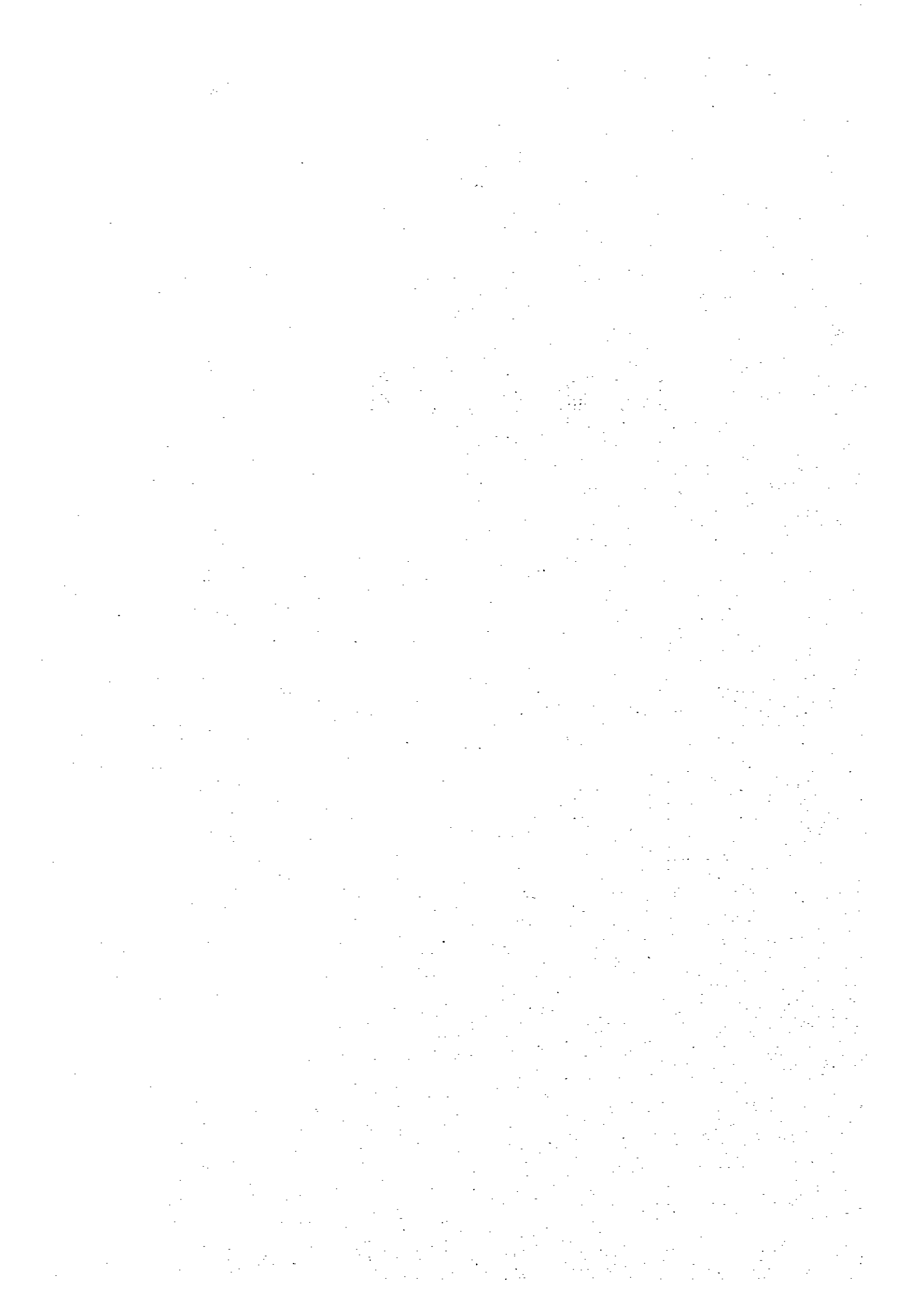


IV. 結 論 と 提 言



IV. 結論と提言

1. 結論

本計画の目的は、経済的に不利な状況に置かれている北部沿岸（海岸延長 680km）の零細漁業の活性化と、漁民の生活向上のために、小規模漁業振興計画を策定することにある。

本調査では、北部沿岸を社会インフラ整備がある程度進んでいる西部地域（コルテス、アトランティダ、コロソ 3 県の沿岸部）と公共投資が大幅に遅れている東部地域（グラシアウ・ア・ディオス県の沿岸部）に分けて、漁業/漁村活動、沿岸資源、水産物流通、水産行政体制、関連援助等の状況を包括的に把握した。東部地域の場合、1988 年実施の人口センサスデータ以外にこの地域を知るための情報がないため、漁業センサスを実施し、詳細な情報を得た。調査結果を踏まえ、北部沿岸の零細漁業の振興策として以下の結論を得るに至った。

(1) 零細漁業振興の方針

1) 振興策の内容及び財源

対象地域の零細漁業振興を持続的かつ自立的な漁業に育成するには、「生産分野」、「漁民組織・資金分野」、「漁村社会・環境分野」における改善を融合させる必要がある。本計画では、これらの分野における改善対策として 7 つのセクター計画を構想した。事業評価の結果、初期投資の際に政府の特別助成金ないしは外国からの支援でこれを賄えば、全セクター計画を実施しても財務的に実施可能と判断されたため、これらの計画を本マスタープランに全て取り込むこととする。政府の財政事情が好転していない状況を鑑み、初期投資の財源について積極的に海外からの支援を仰ぐこととする。

2) 資源管理対策

北部沿岸の漁業資源構造が脆弱であることを鑑み、主要魚種の資源状況を早急かつ科学的に把握し、適正な管理対策を講ずる必要がある。このため、7 つのセクター計画のうち「沿岸資源管理能力強化計画」の実施に優先度を与えることとする。

3) 受益対象者と地域優先度

零細漁業のような貧困層に対する開発は出来るだけ多くの受益者が生ずる工夫が必要であるが、完全な公平性を保った支援方式は効率性に疑問がある。このため、本計画では短期的には漁民の中で中核的な役割を果たしうる人材から漁業近代化に向けての育成を図り、彼等が波及的に周辺漁民の意識に変革を与えることを期待する。

地域的な優先度を見た場合、西部地域は関連プロジェクトも進行中であり、その効果を持続的かつ水平的・垂直的に拡大する必要があるため、この地域を優先させることとする。

4) 専門技術者の調達

本計画を実施する場合の最大の留意点は、各セクター計画においてホンデュラス国内では調達するのが難しい以下のような専門技術者につき、外国の支援を仰がねばならぬ点である。

- 沿岸資源解析、資源管理政策立案指導
- 水産加工技術指導
- 共同出荷運営管理指導
- 漁民組織運営指導

本計画では、このような専門技術者を積極的に海外より調達・配置することとする。

(2) 計画実施の効果

本計画の実施により主目的である漁業の近代化に向けた漁民、漁民組織、漁村女性の教育・訓練の効果が上がり、自立的かつ近代的な漁業経営や活性のある漁村生活が育成される。

現在、北部沿岸には漁労を営む者が 10,000 名前後いるが、その内の約 5,300 名が魚を売って収入を得ている。本計画では 15 年の計画期間中にこれら漁民の約 30%にあたる約 1,700 名を自立的な漁業経営を営みうる漁民に転換させることができ、その波及効果は大きい。これらの漁民の所得は現行水準より西部地域では 48%、東部地域では 83%上昇する。

北部沿岸の漁業資源は脆弱であるため、無秩序な開発は資源の枯渇につながるが、本計画では資源動態を科学的に把握し、それに基づく漁業ガイドラインを設定する。また、漁民に対する啓蒙により、政府と漁民が協力しあって、資源を持続的に利用する体制の基礎固めができるであろう。

本計画はホンデュラスが抱える貧困問題及び先住民族が抱えている中央政府に対する不信感の解消に一石を投ずるものである。西部地域のガリフナ族は、その多くが沿岸部に居住し漁業を営んでおり、東部地域のミスキート族も人口の約 70%が沿岸部に居住して、半農半漁の生活を送っている。これらの民族に対する公的支援はこれまで充分には行われておらず、生活水準も低いままに置かれているため、中央政府に対する不信感が強い。本計画が実施された場合、大部分の受益者はこれら民族から発生することが予想され、彼等の生活水準の向上、不信感の解消の一助となる。

ホンデュラスは現在、経済構造調整の最中にあり、本計画のように少ない投資で短期的に貧困層の生活向上を図り、輸出を振興させ、公共部門の関与を抑制する形での開発は、政府政策と完全に合致するものである。

以上より、本計画を実施することは、国家的見地に立ち非常に有意義であると判断される。

2. 提言

(1) 実施体制の整備

本計画は 7 つのセクター計画が地域別、計画段階別に複雑に入り組んでおり、全体の進捗を正確に把握し調整することが必要である。また、各セクター計画で外国人専門技術者の協力や初期投資金に係る外国からの援助も仰ぐための手配をタイミング良く行う必要がある。このため、DIGEPESCA 内部に「北部沿岸小規模漁業振興調整委員会（仮称）」を早急に設置し、実施の準備をすべきである。

漁村女性支援計画を実施する際には女性の視点に立ったプログラムの調整、指示が行われることが望ましい。したがって、委員会メンバーの人選には、この点に十分留意する必要がある。

(2) 人材、財源の確保

本計画で重要なテーマのひとつは沿岸資源の科学的な把握とそれに基づく資源管理策の策定である。これには 4～5 年にわたる調査を伴うが、DIGEPESCA 内部には水産生物を専攻した技術スタッフが非常に限られている。DIGEPESCA は外国人専門家と常時対応しうるカウンターパートを確保するとともに、必要なローカルファンドを予算化するべきである。

(3) 援助要請

(1)で述べた如く、本計画の初期投資についてセクター計画の実施スケジュールに沿って外国の援助機関に要請を出す必要がある。要請に対する回答は大幅に遅れる場合が多いため、DIGEPESCA は政府内でのコンセンサスを得て常に前倒して要請準備をする必要がある。

(4) 水産物の流通改善

ホンデュラスにおける水産物消費は未だ低水準にあるが、これは食習慣による要素が大きい。しかるに既存の消費市場での魚の販売方法は購買意欲を減退させるものであり、改善の余地が大である。また、山間部の貧困地帯に対する供給体制も存在しない。この点につき DIGEPESCA は必要な調査を実施し、改善策を講じて、国民の水産物消費の向上に努める必要がある。

(5) 零細漁業融資制度の検討

現在、ホンデュラスには零細漁業に対する融資制度はない。本計画では第 2 次短期末までに近代的漁業を営みうる漁民を多数輩出する。彼等に対する融資事業を成功させるために DIGEPESCA は関係省庁と積極的に交流し、可能な形の融資の制度、必要人材、ガイドライン等につき検討を加えておくべきである。

(6) 零細漁民のさらなる意識改革

自立的漁業を営めるように漁民を訓練する際に、近代的な生産手段を貸与して漁業生産を伸ばすだけでは不十分である。公的融資を受けるためには、漁船・漁具の購入に必要な投資金を採算性を保ちつつ返済する能力を身につける必要がある。トルヒージョ MODERPESCA プロジェクトで訓練された漁民も未だそのような水準に達していない。DIGEPESCA はこの点を十分に認識し、漁民の意識改革を更に追求する必要がある。

(7) 初期運営資金の確保

本計画の実施には初期運営資金が必要となる。特に直接便益が発生する「小規模漁業近代化計画」、「水産物流通改善計画」等のプロジェクトに対しては以下のような初期運営資金を確実に予算化しておく必要がある。

- 小型動力漁船を用いた操業訓練の当初1カ月分の運営費：

 - 約180ドル/隻/月（燃料、氷、食事等の経費）

- 初回分の運営経費：

 - US\$3,400/隻/回（運行用及び出荷用燃料、氷、鮮魚購入等の経費）

これらの初期運営資金を公的資金で賄うことにより、その後の運営を継続させることが可能となり、財務的な独立性も確保される（仲買人などとの運転資金の貸借関係の発生を防止できる）。

V. 添付資料



添付資料-1. 調査関係者リスト

(1) 作業監理委員会

1) 委員長	田坂 行男	水産庁中央水産研究所消費流通室長
2) 委員 (フェーズⅠ)	坂本 幸彦	水産庁海外漁業協力室課長補佐
(フェーズⅡ)	平野 智巳	水産庁海外漁業協力室課長補佐

(2) 調査団

1) 総括／漁村振興	富山 保	システム科学コンサルタンツ (株)
2) 漁村社会／漁民組織	森本 孝	"
3) 水産物流通／水産経済	岩崎 茂	"
4) 漁業生産／漁具・漁法	治田 栄一	"
5) 自然条件調査／環境影響	山本 幸生	"
6) 漁村近代化計画	多紀 保彦	"
7) 機材計画	阿保 宏	"
8) 施設計画／施行・積算	渡辺 政彦	"
9) 住民参加／ジェンダー分析	溝辺 哲男	"
10) 業務調整	佐藤 博美	"

(3) カウンターパート

1) Marco Polo Micheletti	農牧省	次官
2) Rosa del Carmen Garcia	DIGEPESCA	総局長
3) Roberto Guerra	DIGEPESCA	次長
4) Rigoberto Gonzales	DIGEPESCA	企画・開発部長
5) Rosa Duarte	DIGEPESCA	企画・開発部
6) Luis Morales	DIGEPESCA	研究・技術部長
7) Maria Gabriela Pineda	DIGEPESCA	研究・技術部

2. Scope of Work

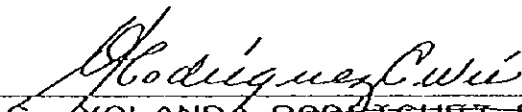
SCOPE OF WORK
FOR
THE MASTER PLAN STUDY
ON
THE SMALL SCALE FISHERIES DEVELOPMENT PROJECT
ON THE NORTH COAST
OF
THE REPUBLIC OF HONDURAS

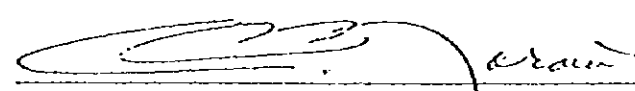
AGREED UPON BETWEEN
DIRECCION GENERAL DE PESCA Y ACUICULTURA,
SECRETARIA DE RECURSOS NATURALES
AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

TEGUCIGALPA, M.D.C. 19th JULY 1995

坂本 幸彦

MR. YUKIHIKO SAKAMOTO
TEAM LEADER
PREPARATORY STUDY TEAM
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY
JAPAN


LIC. YOLANDA RODRIGUEZ DE CWU
MINISTRO POR LEY
SECRETARIA DE RECURSOS
NATURALES
REPUBLICA DE HONDURAS


LIC. ARTURO MORALES FUNES
VICE MINISTRO,
SECRETARIA DE COORDINACION,
PLANIFICACION Y PRESUPUESTO

I. INTRODUCTION

In response to the request of the Government of Honduras, the Government of Japan has decided to conduct the Master Plan Study on the Small Scale Fisheries Development Project on the North Coast of the Republic of Honduras (hereinafter referred to as "the Study") in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

Accordingly, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programs of the Government of Japan, will undertake the Study in close cooperation with the authorities concerned of the Government of Honduras.

The present document sets forth the scope of work with regard to the Study.

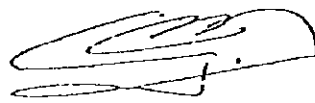
II. OBJECTIVES OF THE STUDY

The objectives of the Study are:

1. To prepare the master plan for the small scale fisheries development project on the north coast of Honduras with social and gender consideration integrated. The intention of the project is to contribute to the development of small scale fisheries and to up-grade the living conditions of the fishermen in the Study area,
2. to conduct the field surveys necessary for the formulation of a small scale fisheries modernization program in the priority areas, and
3. to carry out technology transfer in the course of the Study to the counterpart personnel of the Government of Honduras.

III. OUTLINE OF THE STUDY

1. The Study Area
The Study Area shall cover the north coast of Honduras (APPENDIX-I).
2. Scope of the Study
The Study will cover the following items.
 - (1) Collection of data and field survey
 - a. Natural conditions
 - b. Socio-economic conditions
 - Basic infrastructure
 - Population and households (by sex and



- ethnicity)
- Major sources of income
- c. Social and gender situation
- Presence of social groups
 - General situation of women
 - The degree of women's participation in fishery-relevant activities.
- d. Existing policy and regulations concerned with the study.
- Fisheries Act.
 - Fisheries development plan
 - Credit and taxation
 - Others
- e. Condition of fisheries
- Number of fishermen
 - Size of fish catch
 - Fishing gear and methods
 - Aquaculture
 - Fishermen's organizations/cooperatives
 - Others
- f. Marketing conditions
- Supply and demand
 - Marketing system
 - Transportation system
 - Cost and price
 - Marketing infrastructure
 - Others
- (2) Field survey for the formulation of a small scale fisheries modernization program in priority areas,
- (3) Initial environmental examination (IEE)
- (4) Formulation of a master plan for a small scale fisheries development project including the following components:
- Identification of the direction that socio-economic development should take in the Study Area.
 - Identification of beneficiary groups.
 - Social gender analysis (economic activity profile, access and control, needs analysis and impact analysis).
 - Guideline for fisheries resources management.
 - Fisheries production system.
 - Marketing system.
 - Marketing facilities.
 - Extension and education.
 - Institutional arrangements.
 - Project evaluation.



IV. WORK SCHEDULE

The Study shall be carried out in accordance with the attached tentative work schedule. (APPENDIX-II).

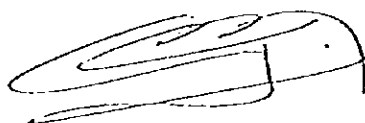
V. REPORTS

JICA shall prepare and submit the following reports to the Government of Honduras.

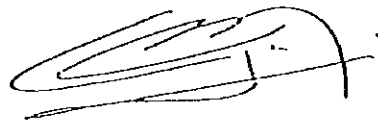
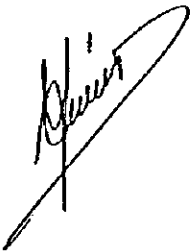
1. Inception Report
Twenty (20) copies in Spanish at the beginning of the Study.
2. Progress Report
Twenty (20) copies in Spanish at the end of first field study in Honduras.
3. Interim Report
Twenty (20) copies in Spanish at the beginning of second field study in Honduras.
4. Draft Final Report
Twenty (20) copies in English and in Spanish at the end of the Study.
The Government of Honduras will provide JICA with its comments of the Draft Final Report within one (1) month after receipt of the Draft Final Report.
5. Final Report
Fifty (50) copies in English and in Spanish within two (2) months after receipt of the comments from Government of Honduras on the Draft Final Report. In any doubt arises in interpretation, English text shall prevail.

VI. UNDERTAKING OF THE GOVERNMENT OF HONDURAS

1. To facilitate smooth conduct of the Study, the Government of Honduras shall take necessary measures;
 - (1) to secure the safety of the Japanese study team,
 - (2) to permit the members of the Japanese study team to enter, leave and sojourn in Honduras for the duration of their assignment therein, and exempt them from foreign registration requirements and consular fees,
 - (3) to exempt the members of the Japanese study team from taxes, duties and other charges on equipment, machinery and other materials brought into Honduras for the conduct of the Study,



- (4) to exempt the members of the Japanese study team from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Japanese study team for their services in connection with the implementation of the Study,
 - (5) to provide necessary facilities to the Japanese study team for the remittance as well as utilization of the funds introduced into Honduras from Japan in connection with the implementation of the Study.
 - (6) to secure permission for entry into private properties or restricted areas for the conduct of the Study.
 - (7) to secure permission for the Japanese study team to take all data and documents (including maps and photographs) related to the Study out of Honduras to Japan.
 - (8) to secure clearance for the use of communication facilities including transceivers,
 - (9) to provide medical services as needed. Any medical expenses incurred will be chargeable to members of the Japanese study team.
2. The Government of Honduras shall bear claims, if any arise, against the members of the Japanese study team resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with, the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the members of the Japanese study team.
 3. Direccion General de Pesca y Acuicultura (hereinafter referred to as "DIGEPESCA") shall act as counterpart agency to the Japanese study team and also as coordinating body in relation with other governmental and non-governmental organizations concerned for the smooth implementation of the Study.
 4. DIGEPESCA shall at its own expense, provide the Japanese study team with the following, in cooperation with other organizations concerned:
 - a. available data, maps and information related to the Study,
 - b. counterpart personnel,
 - c. suitable office space with necessary equipment in La Ceiba and Tegucigalpa,



d. credentials or identification cards,

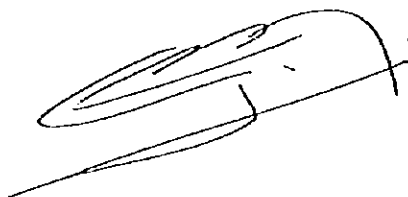
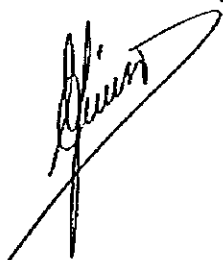
VII. UNDERTAKING OF JICA

For the implementation of the Study, JICA shall take the following measures:

1. to dispatch, at its own expense, study teams to Honduras,
2. to pursue technology transfer to the Honduran counterpart personnel in the course of the Study.

VIII. OTHERS

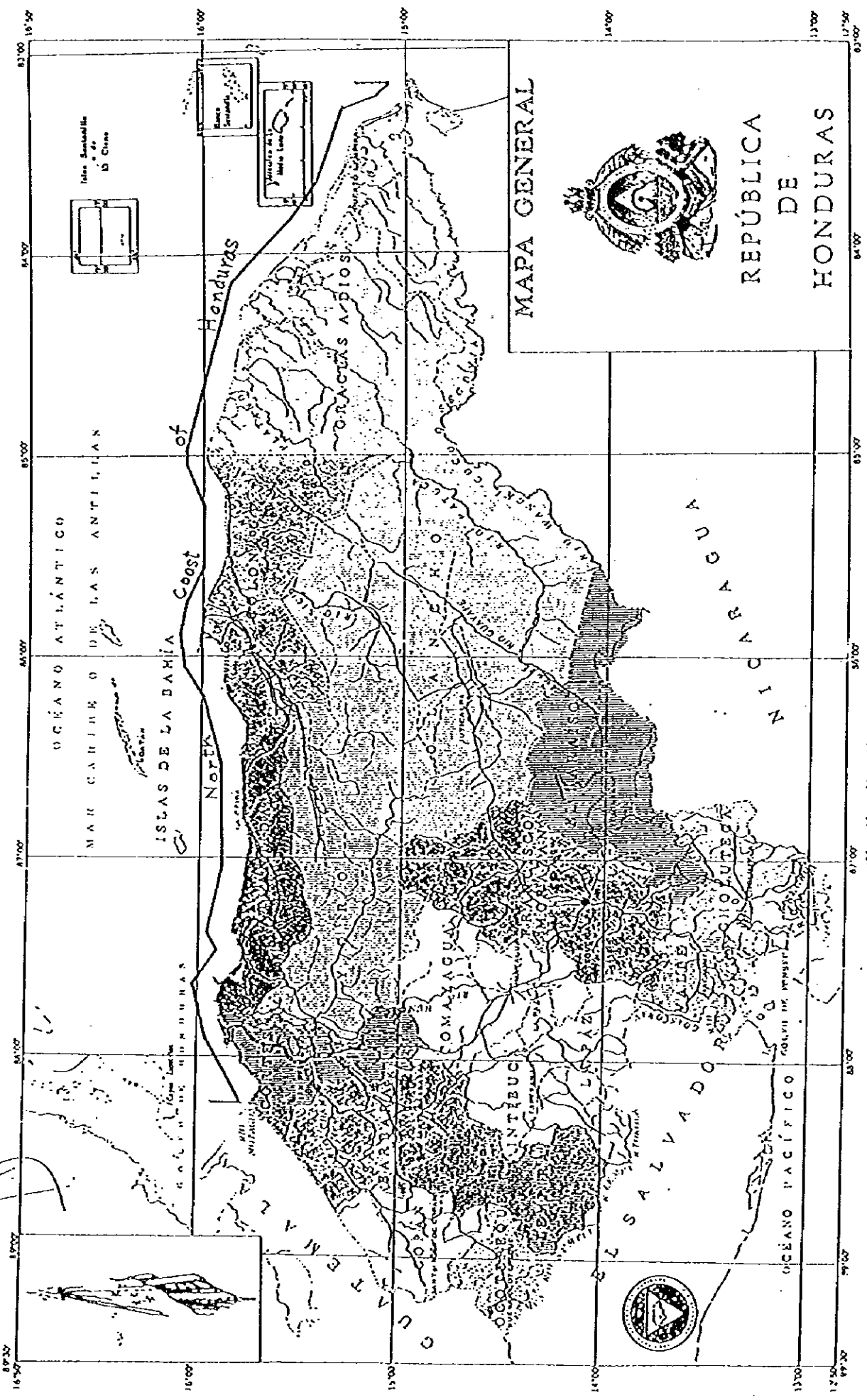
1. JICA and DIGEPESCA shall consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the Study.
2. The Scope of work is made both in English and Spanish. In the case of any discrepancies arising in translation, the English version shall prevail.



③

[Handwritten signature]
(APPENDIX I)

HONDURAS CONOCE TU PATRIA A TRAVÉS DEL INSTITUTO GEOGRÁFICO NACIONAL.



SECRETARÍA DE ESTADO EN LOS DESPACHOS DE COMUNICACIONES,
OBRAS PÚBLICAS Y TRANSPORTE

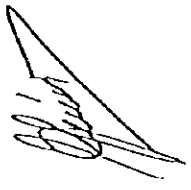
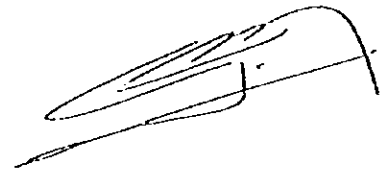
IMPRESO EN EL I.G.N. - 7 - 1990

TENTATIVE WORK SCHEDULE OF THE STUDY

(APPENDIX--II)

CONTENTS	TERM	5	10	15	20	24 (month)
The Study						
Submission of Report		Δ IC/R	Δ PR/R	Δ IT/R	Δ DF/R	Δ F/R

Note: IC/R Inception Report, PR/R;Progress Report, IT/R;Interim Report, DF/R;Draft Final Report, F/R;Final Report,

2. M/M

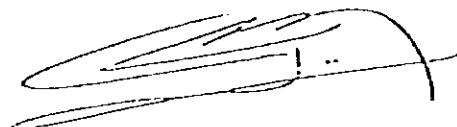
MINUTES OF MEETING
ON
SCOPE OF WORK
FOR
THE MASTER PLAN STUDY
ON
THE SMALL SCALE FISHERIES DEVELOPMENT
PROJECT ON THE NORTH COAST
OF
REPUBLIC OF HONDURAS

The Preparatory Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. YUKIHIKO SAKAMOTO, visited the Republic of Honduras from 9th July to 20th July, 1995 for the purpose of discussing and confirming the Scope of Work for The Master Plan Study on the Small Scale Fisheries Development Project of North Coast of the Republic of Honduras (hereinafter referred to as "the Study").

The team had a series of discussions with the officials concerned of the Direccion General de Pesca y Acuicultura (hereinafter referred to as "the DIGEPESCA") on the Scope of Work for the Study. The list of participants attending the meetings is attached in the Annex.

The following are the main issues discussed and agreed upon by the DIGEPESCA and the Team.

1. The DIGEPESCA requested the following matters to the Team, and the Team promised to convey the requests to the Government of Japan.
 - (1) Training of the Honduras counterpart(s) in Japan
 - (2) To hold seminars for not only DIGEPESCA personnel but also other people concerned, according to its necessities to facilitate the understanding of the Study.



2. The DIGEPESCA expressed that they would make necessary efforts and take necessary actions on the following matters for the smooth implementation of the Study.

- (1) To allocate necessary numbers of counterparts
- (2) To allocate necessary funds in order for the Honduran counterpart personnel to fulfill their duties and responsibilities for the conduct of the Study.
- (3) To prepare motorcycles and boats which will be necessary for the Study Team to conduct field studies in the area of The Mosquitia.

3. The DIGEPESCA referred to the process of master planning for the Small Scale Fisheries Development Project on the North Coast as follows:

- (1) That detailed field studies referred to fisheries census to collect basic data on fisheries in the area of The Mosquitia on the north coast of Honduras will be conducted through the collaboration of both side of Honduras and Japan.
- (2) That field studies and data collection in the area other than The Mosquitia area on the north coast of Honduras will principally be carried out by Honduras side.
- (3) That the formulation of the Master Plan for the Small Scale Fisheries Development Project on the North Coast will be done by the collaboration of both side of Honduras and Japan.
- (4) That it will require approximately 2 years to formulate a master plan, considering a great amount of efforts and time for fisheries census (1).
- (5) That it is preferable that the DIGEPESCA and the Study Team Sent by Japan side direct field studies for fisheries census in the Mosquitia area on the north coast in such a way to promote community participation, i.e. participation of men and women related to the fisheries, school teachers and students, local government officials, and others; that DIGEPESCA will take necessary actions to promote autonomous and active participation of fishermen and other people



(1)

in the Study.

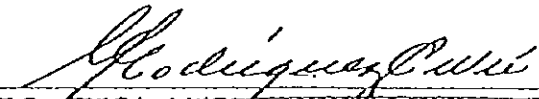
4. The DIGEPESCA made a request to the Team for a prompt formulation of a master planning for the modernization of small scale fisheries, especially in six areas defined as priority areas. The Honduran Government requested to the Government of Japan the grant aid for the following communities: Limon, Santa Rosa de Aguán, Trujillo, La Ceiba, Tela, Omoa and these surrounding areas.

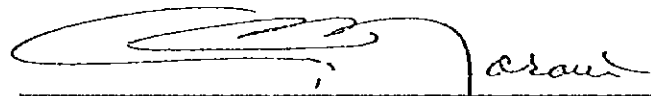
The Team promised to convey this request to the Government of Japan.

Tégucigalpa, M.D.C. 19th JULY 1995

坂本 孝彦

MR. YUKIHIKO SAKAMOTO
TEAM LEADER
PREPARATORY STUDY TEAM
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY
JAPAN


LIC. YOLANDA RODRIGUEZ DE CWU
MINSTRO POR LEY
SECRETARIA DE RECURSOS
NATURALES
REPUBLICA DE HONDURAS


LIC. ARTURO MORALES FUNES
VICE MINISTRO,
SECRETARIA DE COORDINACION,
PLANIFICACION Y PRESUPUESTO

LISTE OF ATTENDANCES
(LISTA DE ASISTENTES)

Date: 19 / 07 / 1995

(Fecha)

NAME (NOMBRE)	POSITION (CARGO)	ORGANIZATION (ORGANIZACION)
田坂 行男 (YUKIO TASAKA) (Hideaki YOKOO)	経済経済学 消費流通研究室長	水産庁 中央水産研究所 (National Research Institute of Fisheries Science)
横尾 英明	業務係長	Promocion de Villas Pesqueras Desarrollo Pesquero 水産庁 海外漁業協力室
畑中 初音 (Hatsune HATANAKA)	Associate Expert.	JICA
Noahemy P. ...	Secretaria JICA (Experto de JICA)	SECPLAN
野沢 俊博	JICA 専門家	SECPLAN
土器屋 哲夫 (TETSUO DOKUYA)	JICA 専門家 (Experto de JICA)	UPSA 天然資源省 (RRNN)
TAKASHI MATSUZAKA	Experto de JICA	DIGEPESCA, RRNN
Marco Polo Micheletti	Director	DIGEPESCA RRNN
TAKESHI NAGASE	DIRECTOR	JICA EN HONDURAS
YASUHIKO FUKUI 福井 美子	Interpreter 通訳者	JICE
(Tadahiro Anzudica) 下平 孝弘	coordinator	JICA

3. Minutes of Meeting on IC/R

1/2

MINUTES OF THE MEETING ON THE INCEPTION REPORT
FOR THE MASTER PLAN STUDY
ON THE SMALL SCALE FISHERIES DEVELOPMENT PROJECT
ON THE NORTH COAST OF THE REPUBLIC OF HONDURAS

In pursue to the objective of the Scope of Work for the Master Plan Study on the Small Scale Fisheries Development Project on the North Coast of the Republic of Honduras (hereinafter referred to as "the Study") signed on July 19, 1995, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched the Study Team headed by Dr. TAMOTSU TOMIYAMA from December 7th, 1995 to February 4th, 1996.

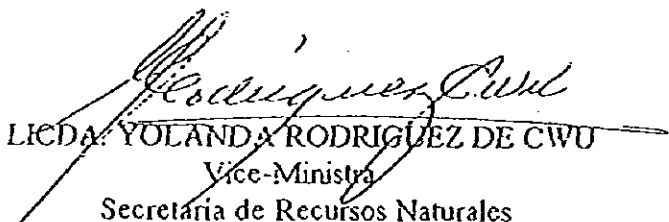
The Study Team submitted 20 copies of the Inception Report to the Honduran side and held a series of discussions with the Honduran authorities concerned.

The outstanding results of the discussions are as follows:

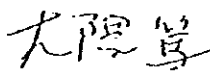
1. Honduran side agreed in principle upon the contents of the Inception Report. A comment, plus a couple of clarifications, which are shown in the Annex attached to the Minutes, were made.
2. Both sides agreed to cooperate with each other for the efficient conduct of the Study so that its objectives would be attained as described in the Inception Report.


Tegucigalpa, M. D. C., January 18th, 1996


DR. TAMOTSU TOMIYAMA
Team Leader
Study Team, JICA


LICDA. YOLANDA RODRIGUEZ DE CWU
Vice-Ministra
Secretaría de Recursos Naturales

Witnessed by


MR. ATSUSHI OKUMA
For Leader
Advisory Committee, JICA


LIC. ARTURO MORALES FUNEZ
Vice-Ministro
Secretaría de Coordinación,
Planificación y Presupuesto

ANNEX COMMENTS AND CLARIFICATIONS

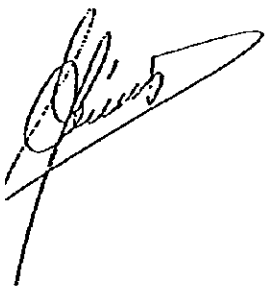
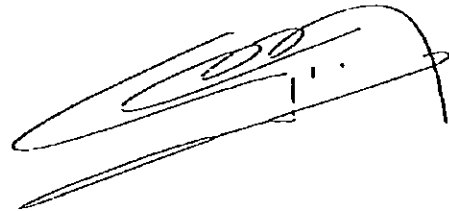
1. Comments

"(Trujillo, Limón, Santa Rosa de Aguán, La Ceiba, Miami y Omoa)" in page 1, paragraph 5), line 3 to 4, be changed to "(Limón, Santa Rosa de Aguán, Trujillo, La Ceiba, Tela, Omoa y comunidades aledañas)".

2. Clarifications

It was confirmed that the following items were contained in the Inception Report:

- 1) Application of the community participation method from the beginning of the Study;
- 2) Consideration of the cultural inherence of people in different areas;
- 3) Review of the regulations for the industrial fisheries to help the artisanal fisheries attain sustainability.



OA.

4. Minutes of Meeting on PR/R

1/2

MINUTES OF THE MEETING ON THE PROGRESS REPORT
FOR THE MASTER PLAN STUDY
ON THE SMALL SCALE FISHERIES DEVELOPMENT PROJECT
ON THE NORTH COAST OF THE REPUBLIC OF HONDURAS

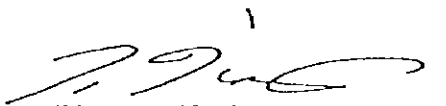
In pursue to the objective of the Scope of Work for the Master Plan Study on the Small Scale Fisheries Development Project on the North Coast of the Republic of Honduras (hereinafter referred to as "The Study") signed on July 19, 1995, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched the Study Team for the Phase II Survey headed by Dr. TAMOTSU TOMIYAMA from May 20th, 1996 to November 30th, 1996.


The Study Team submitted 20 copies of the Progress Report to the Honduran side and held a series of discussions with the Honduran authorities concerned.

The outstanding results of the discussions are as follows:

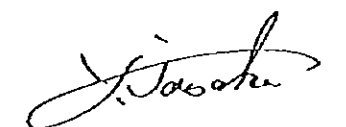
1. Honduran side agreed in principle upon the contents of the Progress Report. A couple of comments and clarifications, which are shown in the Annex attached to the minutes, were made.
2. Both sides agreed to cooperate with each other for the efficient conduct of the Study so that its objectives would be attained as described in the Progress Report.

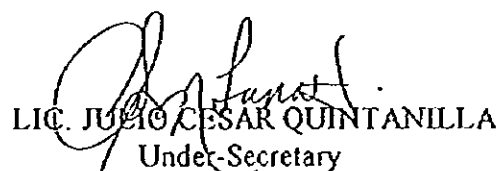
Tegucigalpa, M.D.C. May 28th, 1996


DR. TAMOTSU TOMIYAMA
Team Leader
Study Team, JICA


DR. MARCO POLO MICHELETTI
Under-Secretary
Secretaría de Recursos Naturales
República de Honduras

Witnessed by:


DR. YUKIO TASAKA
Leader
Advisory Committee, JICA


LIC. JULIO CESAR QUINTANILLA
Under-Secretary
Secretaría de Coordinación
Planificación y Presupuesto
República de Honduras

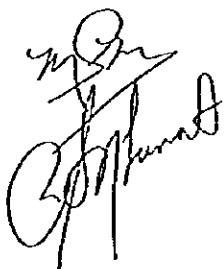
ANNEX

COMMENTS AND CLARIFICATIONSCOMMENTS:

1. Activities on Community Organizations such as COMPA and MASTA shall be studied during Phase II Survey.
2. Further published information by the Honduran Government on marine animal species in danger or in extinction in Honduras is to be collected.
3. Fishery Census Survey is to be implemented from Regional Divisions where mainly divers and crew from fishing boats live, taking into account the seasonal timing of commencement of the shrimp, lobster and conch fishing.
4. Questionnaire of the household survey (type A) is to include a question on language capability on Garifuna by local people.
5. Questionnaire on the fish production survey (type C) is to include a question on fish production cost together with salt fish processing cost.
6. Questionnaire of local fish vendor survey (type D) is to include the question on specified purchasers from local fish vendors together with destination of fish.
7. It is mentioned there are no cases of Environmental Impact Evaluations in the fisheries field up to this moment, however there are cases in aquaculture in the southern coast, for which further studies need to be made during Phase II.

CLARIFICATIONS:

1. Conditions on fisheries' resources will be collected further from fishermen during the Phase II Survey.





5. Minutes of Meeting on IT/R

1/3

MINUTES OF THE MEETING ON THE INTERIM REPORT FOR THE MASTER PLAN STUDY ON THE SMALL SCALE FISHERIES DEVELOPMENT PROJECT ON THE NORTH COAST OF THE REPUBLIC OF HONDURAS

In pursue to the objective of the Scope of Work for the Master Plan Study on the Small Scale Fisheries Development Project on the North Coast of the Republic of Honduras (hereinafter referred to as "the Study") signed on July 19, 1995, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched the Study Team for the Phase III Survey headed by Dr. TAMOTSU TOMIYAMA from January 15th, 1997 to March 15th, 1997.

The Study Team submitted 20 copies of the Interim Report to the Honduran side and held a series of discussions with the Honduran authorities concerned.

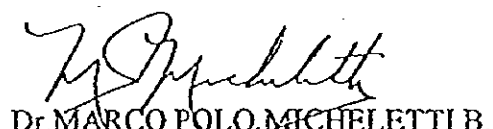
The outstanding results of the discussions are as follows:

1. Honduran side agreed in principle upon the contents of the Interim Report. A comment on the contents and revision of sentences were made, which are shown in the Annex attached to the minutes.
2. Both sides agreed to cooperate with each other for the efficient conduct of the Study so that its objectives would be attained as described in the Interim Report.

Tegucigalpa, M.D.C., January 28, 1997

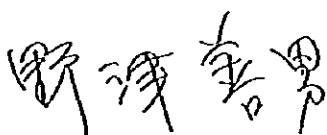


Dr. TAMOTSU TOMIYAMA
Team Leader
Study Team, JICA




Dr. MARCO POLO MICHELETTI B.
Under-Secretary
Secretaría de Agricultura y Ganadería
República de Honduras

Witnessed by:



Mr. YOSHIO NOTSU
Leader
Advisory Committee, JICA



Licda. LUCIA DE MARDER
Representative
Secretaría Técnica y de Cooperación
Internacional
República de Honduras

ANNEX

COMMENT AND SENTENCE REVISIONSCOMMENT:

1. Based on a DIGEPESCA comment, a program of resources survey similar to the one for the Eastern Zone should also be implemented for the Western Zone.

SENTENCE REVISIONS:

Based on recent Honduran Government reorganization, and discussion between both sides, the following sentences have been revised and/or added to the Spanish version:

1. On page 18, line 27 and 28, it should be read: "The eight macro-watersheds", instead of "the eight big rivers".
2. On page 20, line 16, it should be read: "el pargo aleta amarilla", instead of el pez aleta. Same page, line 29, it should continue with the following text: "in any case, it is necessary to gather further data and in a continuous way, in order to evaluate in detail the current resources conditions of the resources described ahead."
3. On page 22, line 1, text to be deleted.
4. On page 25, line 32, it should be read: "The government has established four more municipalities, conforming the Department in the following way: Puerto Lempira, Brus Laguna, Villeda Morales, Francisco Bulnes, Wampusirpe, Ahuas."
5. On page 28, line 3, the following text is to be added: "As it will be described on page 38, the total number of divers and boat drivers is only of 1475 according to the results of the Fisheries Census/Survey".
6. On page 35, line 4, it should be read: "latrines" instead of bathrooms.
7. On page 41, line 15, it should be read: "Percentage of nets".
8. On page 44, line 26, it should be read: "the producer price of fresh fish", instead of "the the price of fresh fish".
9. On page 45, line 8, instead of "fresh fish" it should be read: "fishing products". Same page, line 10 instead of 290.000, the correct number is 2,900.000.
10. On page 77, numeral (2) becomes numeral (3), and numeral (2) goes as follows:
(2) In order to provide opportunities of economical self-reliance to fishing community women, it is necessary to carry out several types of vocational training covering a wide range of the objective area, through MOPAWI, one of the NGO's that has been carrying its activities out in La Mosquitia. However, it is essential to carry out preliminary studies on job opportunities offer and demand.
11. On page 88, starting on line 5, it should be read: "For the joint evaluation on behalf of the Study, participation of the following institutions was proposed :Sub-Secretariat of the Environment and the offices of DECA, DDA and DIGEPESCA. Also, in the case of fishing activities to be planned in the Río Plátano Biosphere, Sub-Secretariat of the Environment has proposed that DAPB of the Natural Resources Secretariat be participated in the joint evaluation.

12. On page 89, in the Social Environment box, on the table, a numeral should be added, containing the following text:
 - 5) Increase of wastes, because of the increase of fishing production.
13. On page 90, line 22, it should be read: "Besides, the artisanal fishing sector keeps on fishing in prohibited fishing grounds such as rivers deltas. Considering such activities, the Study should take into consideration the necessary measures to guide the fishermen to follow the current fishing law."
14. On page 91, line 20, it should be read: "La Baula (Dermochelys coriacea) instead of La Lauda (Dermochelys cariacea).
15. On page 93, line 21, it should be read: "The Natural Resources and Environment Secretariat", instead of SEDA/COHDEFOR.
16. On page 135, Appendix 2, numeral 2, after the formula representing export volume of fish, the following sentence should be added: "where export volume is assumed to be 50% of the internally marketed volume". Same page, after Case 1 and Case 2 calculations for export volume, the following sentence should be added: "It was estimated that the Artisanal sector could export its production of fresh fish in a quantity of less than 1,000 tons annually, if the quality of fish is well controlled."



**MINUTES OF THE MEETING ON THE DRAFT FINAL REPORT
FOR THE MASTER PLAN STUDY
ON THE SMALL SCALE FISHERIES DEVELOPMENT PROJECT
ON THE NORTH COAST OF THE REPUBLIC OF HONDURAS**

In pursue to the objective of the Scope of Work for the Master Plan Study on the Small Scale Fisheries Development Project on the North Coast of the Republic of Honduras (hereinafter referred to as "the Study") signed on July 19th, 1995, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched the Study Team for the Phase III Survey headed by Dr. Tamotsu TOMIYAMA from June 29th, 1997 to July 13th, 1997.

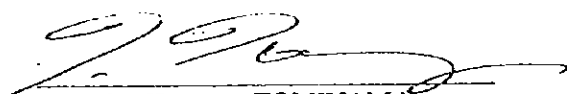
In order to ensure the mutual understanding on the Draft Final Report (hereinafter referred to as "the Report") which the Study Team submitted to the Secretariat of Agriculture and Livestock (hereinafter referred to as "SAG"), a series of meetings presided by Dr. Marco Polo MICHELETTI, Under-Secretary of SAG were held between SAG Staff and the Study Team in the presence of members listed in the Attachment to this document, on July 2nd and July 3rd, 1997.

Remark: The Scope of Work was agreed upon between the Secretariat of Natural Resources and JICA. However, starting in January 1st, 1997, the said Secretariat was divided into two (2) bodies; the Secretariat of Agriculture and Livestock (SAG) and the Secretariat of Natural Resources and Environment (SERNA), due to State Modernization Program, based on decree No. 218-96. This Study was succeeded to SAG. (Enclosed is a copy of decree No. 218-96 that explains the Secretariat change).

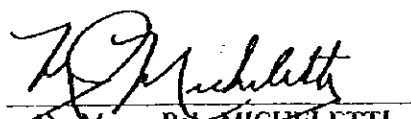
The outstanding results of the discussions are as follows:

1. SAG received twenty (20) copies of the Report in English and in Spanish, respectively.
2. SAG will examine the Report and will submit official comments on it to JICA Honduras Office by August 4th, 1997.
3. The Study Team shall examine the comments, and, where possible, revise the Report in making the Final Report.
4. SAG agreed that the Final Report will be open for the public.

Tegucigalga, M.D.C., July 4th, 1997

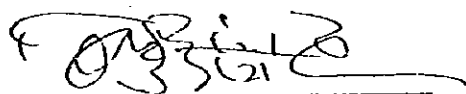


Dr. Tamotsu TOMIYAMA
Team Leader
Study Team
JICA

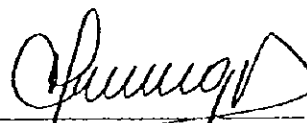


Dr. Marco Polo MICHELETTI
Under-Secretary
SAG
Republic of Honduras

Witnessed by:



Mr. Tomomi HIRANO
Team Leader
Advisory Team
JICA



Mrs. Guadalupe HUNG PACHECO
Director of International
Technical Cooperation
SETCO
Republic of Honduras

ATTENDANCE LIST

DATE: July 2nd, 1997
 PLACE: DIGEPESCA's Office
 HOUR: 9:00 a.m.

NAME	POSITION	INSTITUTION
<u>HONDURAN COUNTERPART</u>		
Rosa del Carmen GARCIA	Director	DIGEPESCA
Roberto GUERRA	Sub-Director	DIGEPESCA
Rigoberto GONZALEZ	Planner	DIGEPESCA
Rosa DUARTE	Planner	DIGEPESCA
Luis MORALES	Biologist	DIGEPESCA
Gabriela PINEDA	Biologist	DIGEPESCA
Takashi MATSUZAKA	Fishing Expert	DIGEPESCA/JICA
<u>STUDY TEAM</u>		
Tamotsu TOMIYAMA	Team Leader	JICA
Takashi MORIMOTO	Fishing Societies	JICA
Shigeru IWASAKI	Marketing/Economy	JICA
<u>ADVISORY TEAM</u>		
Tomomi HIRANO	Team Leader	JICA
Hiroyuki MATONO	Member	JICA





ATTENDANCE LIST

DATE: July 3rd, 1997
 PLACE: DIGEPESCA's Office
 HOUR: 9:00 a.m.

NAME	POSITION	INSTITUTION
<u>HONDURAN COUNTERPART</u>		
Rosa del Carmen GARCIA	Director	DIGEPESCA
Roberto GUERRA	Sub-Director	DIGEPESCA
Rigoberto GONZALEZ	Planner	DIGEPESCA
Rosa DUARTE	Planner	DIGEPESCA
Luis MORALES	Biologist	DIGEPESCA
Gabriela PINEDA	Biologist	DIGEPESCA
Takashi MATSUZAKA	Fishing Expert	DIGEPESCA/JICA
<u>STUDY TEAM</u>		
Tamotsu TOMIYAMA	Team Leader	JICA
Takashi MORIMOTO	Fishing Societies	JICA
Shigeru IWASAKI	Marketing/Economy	JICA
<u>ADVISORY TEAM</u>		
Tomomi HIRANO	Team Leader	JICA
Hiroyuki MATONO	Member	JICA





7. 主要収集資料リスト

地図				
1	SEGMENTATION MAP DEPARTAMENTO GRACIAS A DIOS 1:100,000	1988	MUNICIPIO PURETO LEMPIRA	
2				
3	TIERRAS INDIGENAS DE LA MOSQUITIA HONDURENA: ZONAS DE SUBSISTENCIA 1:500,000 北部沿岸地域地図 1:50,000	1995	MOPAWI	
法律関係				
1	RESOLUCION NO. 033-95	1995		
2	RESOLUCION NO. 030-95	1995		
3	RESOLUCION NO. 021-95	1995		
気象関係				
1	LAS MODALIDADES DE LA LUVIA EN HONDURAS		E. Z. ANDRADE	
2	EL CLIMA E HISTORIA DE CIUDADES Y PUEBLOS DE HONDURAS	1990	E. Z. ANDRADE	
3	LA ESTRUCTURA Y EL COMPORTAMIENTO DE LA ATMOSFERA	1989	E. Z. ANDRADE	
4	HONDURAS ENEE気象関係等 - 夕	1995	E. Z. ANDRADE	
5	PROMEDIOS MENSUALES DE VELOCIDAD DEL VIENTO (都市別)	1965-93		
水産関連				
1	INFORME DIARIO, MINI PROYECT (MEDERNIZACION DE LAS COMUNIDADES PESQUERAS DE LA BAHIA DE TRUJILLO	1995	有馬専門家	
2	LISTA DE NOMBRES DE PERSONAS Y GRUPOS FRACASADOS EN PROYECTO MODELPESCA/TORUJILLO			
3	FISHING AND AQUACULTURE ORDINATION AND DEVELOPMENT IN HONDURAS	1994	DIGEPESCA	
4	FUTURE ACTIVITIES TO PROMOTE THE INTEGRAL USE OF FAC	1990	PRADPESCA	
5	ARTES DE PESCA A UTILIZAR EN EL PROYECTO DE PESCA ARTESANAL	1984	RRNN	
6	MANUAL TECNICO DEL SISTEMA NACIONAL DE EVALUACION DE IMPACT AMBIENTAL		SEDA	
7	LINEAMIENTOS GENERALES DE ESTRATEGIAS PARA EL DESARROLLO SOCIAL Y PRODUCTIVO DE HONDURAS, 1994-7		SECPAN	
8	INFORME SOBRE GIRA REALIZADA A DOCE COMUNIDADES PESQUERAS DEL LITORAL ATLANTICO DE HONDURAS	1992	J. P. DE BONILLA	
社会/経済				
1	HONDURAS ECONOMIC MEMORANDUM/POVERTY ASSESSMENT	1994	THE WORLD BANK	
2	HONDURAS EN CIFRAS 1992-1994	1995	DEP. DE ESTUDIOS ECONOMICOS	
3	INDICADORES ECONOMICOS DE CORTO PLAZO	1995	DEP. DE ESTUDIOS ECONOMICOS	
4	PROGRAMA DE COOPERACION TECNICA, MODERNIZACION DEL SECTOR PUBLICO PESQUERO HONDURAS	1994	FAO	



۱۳۸۳